

記入例

実務経験証明書

下記の者は、解体工事に関し、下記の通り実務経験を有することに相違ないことを証明します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日
 証明者 株式会社 福島解体
 代表取締役 福島 一郎

技術管理者の氏名	建設 太郎	生年月日	昭和30年8月2日	使用された期間	平成 2年 12月 から
使用者の商号 又は名称	株式会社 福島解体				平成19年 11月 まで
職名	実務経験の内容			実務経験年数	
工事主任	「〇〇邸解体工事」、木造建築物の解体施工			平成3年5月から平成3年7月まで	
工事主任	「〇〇工場解体工事」、木造建築物の解体施工			平成5年7月から平成5年10月まで	
工事係長	「〇〇マンション解体工事」、SRC 構造物の解体施工			平成6年4月から平成6年9月まで	
工事係長	「〇〇橋解体工事」、PC 構造物の解体			平成7年3月から平成7年11月まで	
土木解体課長	「〇〇中学校解体工事」、鉄筋構造物の解体			平成8年4月から平成8年6月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
使用者の証明を得ることができない場合	その理由	(倒産により使用者行方不明のため、など)		合計 満 8年 月	
				証明者から見た技術者との関係を記入	証明者と被証明者との関係

記載要領

- 1 この証明書は、被証明書1人について、証明者別に作成すること。
- 2 「実務経験の内容」の欄には、従事した主な工事名、解体した建築物等の構造等を具体的に記載すること。